

第 7 章

不定詞を含む構文

○学習のねらい…不定詞の名詞・形容詞・副詞的用法やその他の要点を確認する。

23 不定詞の意味上の主語, 完了不定詞, 否定形, 受動態 Key Sentences

- 1 (a) It is easy **to form** a bad habit. 悪い習慣は身につくやすい。
 (b) Everybody was anxious **to know** his name. だれもが彼の名を知りたがった。
- 2 (a) I want *you* **to go** there. 私は君にそこに行ってもらいたい。
 (b) It is hard *for old people* **to shake off** old habits. 年寄りには古い習慣を捨てることは難しい。
 (c) How nice *of you* **to give** me a ride! 私を車に乗せてくれるなんてご親切様です。
- 3 (a) He is said **to have been** a pilot. 彼はパイロットだったと言われている。
 (b) I intended **to have come** in time. 時間内に来るつもりだったのだが。
- 4 I thought it better **not to let** her go alone. 私は彼女を1人で行かせない方がよいと思った。
- 5 There seems nothing special **to be said** against him. 彼には特に悪く言われることはないようだ。

Key Points

- ① 不定詞の意味上の主語が表されない場合： ㊦一般の人々, 文脈上明らかな人<→1(a)>
 ㊦文の主語と一致<→1(b)>
- ② 不定詞の意味上の主語が表される場合： ㊦目的語が意味上の主語<→2(a)>
 ㊦for+目的語<→2(b)>
 ㊦of+目的語。人の性質, 人に対する話者の評価を表す形容詞と共に使う。<→2(c)>
- ③ 完了不定詞(**to have+過去分詞**)： ㊦述語動詞の時制よりも前の時を表す。
3(a)=It is said that he was a pilot.
 ㊦want, hope, intend, expect などの動詞の過去形+完了不定詞 → 過去に実現しなかった期待・意図<→3(b)>
- ④ 不定詞の否定形： not, never などを to 不定詞の前に置く。<→4>
- ⑤ 不定詞の受動態(**to be+過去分詞**)<→5>

☝ 確認問題 23 次の英文は日本語に, 日本語は英文になおしなさい。

- (1) This is the point for the students to keep in mind.

- (2) The boy seemed to have been arrested by the police for possessing drugs.

- (3) It's my principle never to borrow any money.

- (4) This is the book to be read by high school students.

- (5) 彼はそこには行かなかったようだ。 -----